



だい かい えるえる
第10回 LLブックセミナー

える える ぶっく

LLブック

よ ほん
(読みやすくわかりやすい本)

だれもがみんな読書を楽しみたい。
知的障がいや自閉症、読み書き障がい
などがあっても、願いはいっしょ。

を進める

えるえる LLとは、スウェーデン語のLättlästの略語で、「やさしく読める」という意味です。

知的障がいや自閉症の人に、本を届ける

—代読サービスとLLブック最新情報—

知的障がいや自閉症の人に本を届けるためには、やさしく読める本を作ることと、作った本を彼らの手元まで届け、彼らが見たり聞いたりできるように援助することが大事です。

第10回セミナーでは、知的障がいのの人に、好きな本を届けて、内容がわかるように代読サービスを実践されてきた山内薫さんからお話いただきます。攪上久子さんから、世界のバリアフリー絵本展の11年間をふりかえり、展示されてきた本と、その中でのLLブックの動向をご紹介します。

最後に、阪神・淡路大震災から20年が経ち、大阪市では障がい者や外国人に対し、災害時の取り組みをどのように進めてきたのか、紹介していただきます。多くの方の参加をお待ちしています。

日時：2015年 1月11日 (日曜日)

13:00~16:30 (開場：12:30)

定員：300名 (当日先着順)

会場：大阪市立中央図書館 5階大会議室

入場無料

大阪市西区北堀江4丁目3-2

地下鉄千日前線・長堀鶴見緑地線

西長堀駅7号出口すぐ

電話：06-6539-3326

FAX：06-6539-3336





LLブックセミナープログラム

13:00～13:10 あいさつと趣旨説明 吉田くすほみ(大阪特別支援教育振興会)

13:10～14:10 図書館での知的障がいの方への読書支援と代読サービス
山内 薫(墨田区立ひきふね図書館)

長年、墨田区の図書館員として、知的障がいや自閉症の人に、本を届ける仕事を続ける。その仕事を綴った著書に「本と人をつなぐ図書館員」「高齢者と障がい者のための読み書き代読・代筆情報支援員入門」等がある。

14:10～14:40 休憩 ～LLブックやマルチメディアDAISYの展示・実演～

14:40～15:30 世界のバリアフリー絵本展にみるLLブックの動向
攪上 久子(日本国際児童図書評議会理事・世界のバリアフリー絵本展実行委員長)

11年間、世界のバリアフリー絵本展を主催する。日本国際児童図書評議会理事として、国際児童図書評議会の障害児図書資料センター推薦図書の国内選定に関わる。

15:30～15:45 LL写真ブック「わたしのかぞく」
藤澤 和子(大和大学)

15:45～16:05 障がい者や外国人への大阪市の災害対策の今：阪神・淡路大震災1995年から20年
大阪市危機管理室

16:05～16:30 質疑応答 司会 岩崎 隆彦 (姫島こども園施設長)

<総合司会>

岩崎 隆彦 (姫島こども園施設長)

<企画>

吉田 くすほみ (大阪特別支援教育振興会) 藤澤 和子 (大和大学)



知的障害・自閉症児者のための読書活動を進める会 大阪市立中央図書館 【共催】

協賛：大阪市手をつなぐ育成会 近畿視覚障害者情報サービス研究協議会

日本図書館協会 障害者サービス委員会・関西小委員会 日本図書館研究会

後援：(公益財団法人)大阪特別支援教育振興会 大阪公共図書館協会